



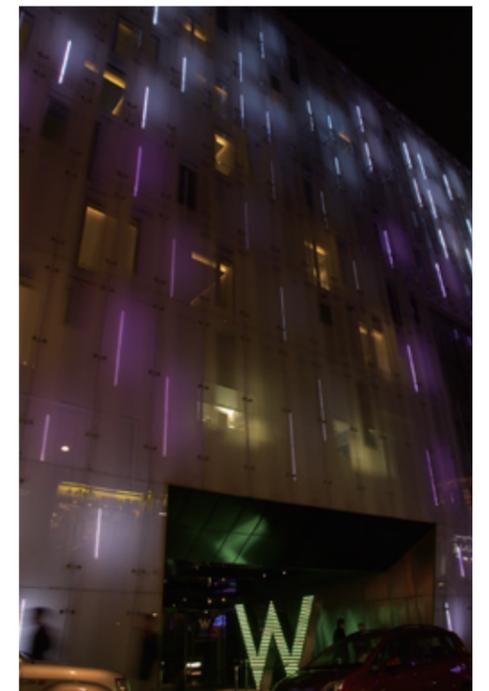
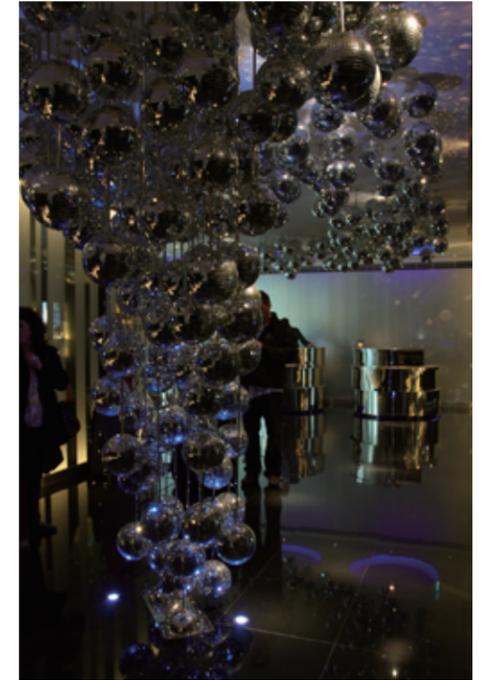
ラウンジにある彫刻的な照明オブジェ

ブロードウェーと対照されるウエストエンド。界隈には劇場や映画館、レストランなどが多く、昼夜を問わずにぎわっている繁華街だ。世界30数カ国で展開するW hotel は著名な建築家やデザイナーを起用したお洒落でスタイリッシュな高級ホテルとして知られているが、レスタースクエア近くにあるこのホテルでは、

建築家Jestico+WhilesとConcreteが手掛けている。Wという由来についてはWhatever-Whenever(お望みの物を・お望みの時に)という経営理念にあるらしい。お馴染みのLEDライトのロゴサインが迎えてくれる玄関口から、エレベータでのぼった2階のレセプションまでは、計630個のディスコ用

のミラーボールを使用したインスタレーションでエスコートされ、黒のグラニットのフロリングも快い。レセプションから奥に白いキャビネットで仕切られたブティックとラウンジ、さらに27mという伝統的な黒革張りのチェスターフィールドソファが置いてあるラウンジバー、真っ赤で刺激的なWyld Barへと続く。ミラー

7000ピースを使用した直径3mのミラーボールと5.5mの高さの真っ赤なキャビネットの雰囲気はまさに刺激的で、セレブたちお気に入りの社交スポットとなっている。エントランスにはジョン・ジョルジュのレストランSpice Marketのロンドン店がある。



上/ロビーホールにあるディスコボールのインスタレーション 下/WサインのLED照明のあるエントランス